TADOKU JUNIOR　イギリスの昔話　★★★☆☆ ふつう　679語

Jack Hannaford

ジャック・ハナフォード

Joseph Jacobs（1890年の本）　**原文そのまま**　朗読：Joy Chan

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　お金にこまった年よりのへいたいジャックが、とてもおばかなお百しょうさんとおくさんの家へ。「天国から来ました」と言うと、おくさんは大よろこびで……。



There was an old soldier who had been long in the wars—so long, that he was quite out-at-elbows, and he did not know where to go to find a living. So he walked up moors, down glens, till at last he came to a farm, from which the good man had gone away to market. The wife of the farmer was a very foolish woman, who had been a widow when he married her; the farmer was foolish enough, too, and it is hard to say which of the two was the more foolish. When you've heard my tale you may decide.

Now before the farmer goes to market says he to his wife: “Here is ten pounds all in gold, take care of it till I come home.” If the man had not been a fool he would never have given the money to his wife to keep. Well, off he went in his cart to

market, and the wife said to herself: “I will keep the ten pounds quite safe from thieves;” so she tied it up in a rag, and she put the rag up the parlour chimney.

“There,” said she, “no thieves will ever find it now, that is quite sure.”

Jack Hannaford, the old soldier, came and rapped at the door.

“Who is there?” asked the wife.

“Jack Hannaford.”

“Where do you come from?”

“Paradise.”

“Lord a' mercy! and maybe you've seen my old man there,” alluding to her former husband.

“Yes, I have.”

“And how was he a-doing?” asked the goody.

“But middling; he cobbles old shoes, and he has nothing but cabbage for victuals.”

“Deary me!” exclaimed the woman. “Didn't he send a message to me?”

“Yes, he did,” replied Jack Hannaford. “He said that he was out of leather, and his pockets were empty, so you were to send him a few shillings to buy a fresh stock of leather.”

“He shall have them, bless his poor soul!” And away went the wife to the parlour chimney, and she pulled the rag with the ten pounds in it from the chimney, and she gave the whole sum to the soldier, telling him that her old man was to use as much as he wanted, and to send back the rest.

It was not long that Jack waited after receiving the money; he went off as fast as he could walk.

Presently the farmer came home and asked for his money. The wife told him that she had sent it by a soldier to her former husband in Paradise, to buy him leather for cobbling the shoes of the saints and angels of Heaven. The farmer was very angry, and he swore that he had never met with such a fool as his wife. But the wife said that her husband was a greater fool for letting her have the money.

There was no time to waste words; so the farmer mounted his horse and rode off after Jack Hannaford. The old soldier heard the horse's hoofs clattering on the road behind him, so he knew it must be the farmer pursuing him. He lay down on the ground, and shading his eyes with one hand, looked up into the sky, and pointed heavenwards with the other hand.

“What are you about there?” asked the farmer, pulling up.

“Lord save you!” exclaimed Jack: “I've seen a rare sight.”

“What was that?”

“A man going straight up into the sky, as if he were walking on a road.”

“Can you see him still?”

“Yes, I can.”

“Where?”

“Get off your horse and lie down.”

“If you will hold the horse.”

Jack did so readily.

“I cannot see him,” said the farmer.

“Shade your eyes with your hand, and you'll soon see a man flying away from you.”

Sure enough he did so, for Jack leaped on the horse, and rode away with it. The farmer walked home without his horse.

“You are a bigger fool than I am,” said the wife; “for I did only one foolish thing, and you have done two.”

和訳 ジャック・ハナフォード（Jack Hannaford）

長いあいだ、いくさに出ていた年よりのへいたいがいました。あまりに長くいくさに出ていたので、服はすっかりぼろぼろで、どこへ行けばくらしていけるのかもわかりませんでした。そこでへいたいは、あれ野をのぼり、谷を下り、とうとう1けんの農家にやってきました。その家の主人は、市場へ出かけてるすでした。お百しょうさんのおくさんは、とてもおばかな人でした。お百しょうさんとけっこんする前、前のだんなさんをなくしていたのです。お百しょうさんのほうも、なかなかおばかで、ふたりのどちらがよりおばかなのか、なんとも言えません。わたしの話を聞きおわったら、あなたがきめてください。

さて、市場へ出かける前に、お百しょうさんはおくさんに言いました。「ここに金で10ポンドある。わしが帰るまで、ちゃんとあずかっておいてくれ。」もしこの人がおばかでなかったら、おくさんにお金をあずけたりはしなかったでしょう。さて、お百しょうさんが荷馬車で市場へ出かけると、おくさんはひとりごとを言いました。「この10ポンドを、どろぼうにとられないように、ちゃんとしまっておかなくちゃ。」そこでお金をぼろきれにつつんで、へやのだんろのえんとつの中におしこみました。

「これでよし」とおくさんは言いました。「ここならどろぼうにも見つからないわ。ぜったいにね。」

年よりのへいたいジャック・ハナフォードがやってきて、戸をトントンとたたきました。

「どなた？」とおくさんがたずねました。

「ジャック・ハナフォードです。」

「どこから来たの？」

「天国からです。」

「まあ、なんてこと！それじゃあ、あちらでうちの人に会ったかもしれないわね」――おくさんは、前のだんなさんのことを言っていたのです。

「ええ、会いましたよ。」

「それで、うちの人はどうしていました？」とおくさんはたずねました。

「まあまあですね。古いくつのしゅうりをしていて、食べ物はキャベツしかありません。」

「まあ、かわいそうに！」とおくさんはさけびました。「わたしに何かことづけはなかった？」

「ありましたとも」とジャック・ハナフォードは答えました。「かわがなくなって、ポケットもからっぽだから、新しいかわを買うお金を少し送ってほしい、と言っていましたよ。」

「送ってあげますとも、かわいそうな人！」そしておくさんはへやのだんろへ行って、10ポンドの入ったぼろきれをえんとつから引っぱり出し、ぜんぶへいたいにわたしました。そして、うちの人には、ほしいだけ使って、のこりは送り返してくれるように、と言いました。

ジャックはお金を受け取ると、ぐずぐずしてはいませんでした。できるだけ急いで歩いて、立ちさっていきました。

やがてお百しょうさんが帰ってきて、お金はどこだとたずねました。おくさんは、天国にいる前のだんなさんに、天国のえらい人たちや天使のくつをなおすためのかわを買うお金として、へいたいにことづけて送ったと話しました。お百しょうさんはかんかんにおこって、うちのおくさんほどのおばかには会ったことがない、と言いました。でもおくさんは、自分にお金をあずけたあなたのほうが、もっとおばかよ、と言いました。

言いあらそっているひまはありません。お百しょうさんは馬にまたがって、ジャック・ハナフォードを追いかけていきました。年よりのへいたいは、うしろの道で馬のひづめがパカパカ鳴るのを聞いて、お百しょうさんが追いかけてきたにちがいないと気づきました。そこでへいたいは地面にねころがって、かた手を目の上にかざして空を見上げ、もうかた手で空をゆびさしました。

「そこで何をしているんだ？」とお百しょうさんは、馬を止めてたずねました。

「いやはや！」とジャックはさけびました。「めずらしいものを見たんですよ。」

「何を見たんだ？」

「人が、まるで道を歩くみたいに、まっすぐ空へのぼっていくんです。」

「まだ見えるのかい？」

「ええ、見えますよ。」

「どこだ？」

「馬からおりて、ねころんでごらんなさい。」

「馬を持っていてくれるならね。」

ジャックはよろこんでそうしました。

「見えないぞ」とお百しょうさんは言いました。

「手を目の上にかざしてごらんなさい。すぐに、あなたからとんでいく男が見えますよ。」

たしかにそのとおりになりました。ジャックが馬にとびのって、そのまま走りさってしまったのです。お百しょうさんは、馬もなしに歩いて家へ帰りました。

「あなたはわたしよりもおばかね」とおくさんは言いました。「わたしがしたおばかなことは1つだけだけど、あなたは2つもしたんですもの。」

たんご と クイズ ジャック・ハナフォード

soldier へいたい	**farm** 農家	**gold** 金
chimney えんとつ	**shoes** くつ	**horse** 馬
sky 空		

Q1 ジャックは、どこから来たと言いましたか？

① 天国　② 海の向こう　③ おしろ

Q2 おくさんは10ポンドをどこにかくしましたか？

① ベッドの下　② えんとつの中　③ 畑の土の中

Q3 お百しょうさんは、さいごに何をなくしましたか？

① ぼうし　② くつ　③ 馬

こたえ

Q1 ① ジャックは「天国からです」と言いました。おくさんは、天国にいる前のだんなさんに会ったのかと思いこみました。

Q2 ② どろぼうに見つからないように、ぼろきれにつつんで、へやのだんろのえんとつの中にかくしました。

Q3 ③ 空を見ているあいだに、ジャックが馬にとびのって走りさってしまったので、馬をなくしました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典 英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #7439（Joseph Jacobs、1890年）。パブリックドメイン。
挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。
朗読（Web版）：Joy Chan（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは 3 重チェック。人の目でも順次確認しています。